NIE実践報告

１．タイトル：NIE活動　PCで新聞作り　（歴史新聞を作ろう）

２．学校名

札幌市立米里小学校

３．実践者名（代表者名）

森田雅哉

４．学年

第6学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合学習＆社会科　79名

６．単元（本時の学習課題）名

NIE活動　PCで新聞作り　（歴史新聞を作ろう）

７．目標(狙い)

新聞作りの経験や新聞に関わる学習を受け、歴史学習のまとめとして最も伝えたいことを取捨選択し、新聞の定型（パソコンソフトの活用）に合わせた記事や見出しにして伝えることができる。

８．評価の視点

何をトップ記事として伝えたいのか。適した見出しや資料の選択などが出来ているか。PCソフトの特性を生かしたブラッシュアップ（作品完成後の）に取り組んでいるか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

歴史新聞を作ろう（2時間）　NIE活動　PCで新聞作り（10時間）　合計12時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「歴史新聞を作ろう」の時間の中で、これまでに学んだ歴史上の出来事・人物の中から自分が新聞記事として伝えたいものを選択し、資料等をまとめる。(2時間/2)
②「PCで新聞作り」の時間や家庭学習の時間を活用し、トップ記事の選択や記事つくりを行う。（５時間/10)
③新聞作成ソフトの活用による新聞作りを行う。（3時間/10)
④記事の確認の後、編集後記（新聞つくりの感想）の作成を行う（1時間/10)
⑤新聞を交流しあう中から、ブラッシュアップを行う。（1時間/10)
(留意点)
・記事作りにおいては、これまでに経験している新聞作りや一般紙を調べた経験なども想起させる。
・パソコンで作成する利点を理解させ、字体や見出しの色使いなどブラッシュアップすることの大切さや簡単にできる事も伝える。粘り強く取り組むことを理解させる。
・歴史学習のまとめとして、自分の学びをしっかりと伝えることを求める。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

パソコンを使うことで当初は戸惑いもあったが、すぐに操作にもなれ、作品を仕上げることができた。トップ記事を教科書の範囲を超えた内容にしたり、事件記事風に伝えるなど各々の工夫も見られた。字体や見出しの文言を簡単に変換でき、時間いっぱいまでより良い作品にしようという姿も見られた。

12．成果と課題

手書きの新聞作りを事前に経験し、前年には新聞社の仕事やトップ記事に対する思いや責任なども学習していたため、歴史新聞においても何を最も伝えたいのかという点に関しては、各々思いをもって取り組んでくれた。パソコンの活用も交流やブラッシュアップという点で有効であった。歴史学習のまとめとしても行ったため、新聞活用・社会科・パソコンと求めるものが盛りだくさんになり、狙いや指導が曖昧になった面も見られた。